**日本語教育機関のための自己点検・評価項目**

**神戸新長田日本語学院**

**2021年度**

**神戸新長田日本語学院**

自己点検・自己評価について

神戸新長田日本語学院は日本語学校がもつ役割としての教育の質の向上と適切な業務運営を継続させる為、自己点検・自己評価項目を定め、定期的に点検・評価することとする。自己点検は1年に一度、年度末に実施を予定する。

各部署の責任者が年度を振り返って評価を行い、まとめたものを年度末の職員会議で全体の振り返りとして行なう。

振り返りを終えた後、その年度の自己点検・自己評価として学校ＨＰ上に公表する。

評価方法は5段階評価とし、各カテゴリーに詳細説明、改善事項欄を設けている。

5：　達成されている

4：　ほぼ達成されている

3：　達成できるよう努力している

2：　取り組みを検討している

1：　改善を必要とする

注{【※】の表示がある箇所（項目1-1、2-1、2-2、5-1、8-1）は、○：設定されている／×：設定されていないかの評価とする。}

1．教育理念・教育目標

［○］　　 ※1－1　理念・目標が定められているか。

［4］ 　 　　1－2　理念・目標が教職員に周知されているか。

［5］　 　1－3　理念・目標に基づく教育が行なわれているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　教職員採用時に教育理念・目標を伝えている。また、会議等を通じて、日ごろから教育理念・目標を職員で確認している。

2．学校運営

［○］ 　　※2－1　運営方針は定められているか。

［○］　　 ※2－2　事業計画は定められているか。

［4］　 　 2－3　意思決定が組織的に確立され、効率的なものになっているか。

［5］　　 　2－4　事業規模に見合った組織運営がされているか。

［3］　　 　2－5　定期的に業務の見直し及び、効率化が図られているか。

［4］　 　　2－6　学校内外の情報について教職員全体で共有できているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　新型コロナウィルスの感染拡大のため、当初の予定からほぼ遠い状況となっているが、徐々に本来の事業計画に基づき修正を行いたい。

3．教職員人事

［4］　　　3－1　教職員の採用方法、雇用条件が明確になっているか。

［5］　　　3－2　教職員それぞれが教育の質の向上のために取り組みができているか。

［4］　　　3－3　教職員の評価を適切に行っているか。

［5］　　　3－4　授業シフトにおける教員配置が適切に行われているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　学期末ごとに、学生にアンケートを取り、その結果を教職員で共有し、教育の質の改善に取り組んでいる。教職員の採用時には雇用条件等の説明を行い、将来的な学校運営目標や教育理念などの話し合いの場を作り、意志の疎通を行っている。

4．財務管理

［4］　 　4－1　短期・長期的に学校の財務状況は安定しているか。

［3］　 　4－2　予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。

［4］　 　4－3　会計監査が適正に行われているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　入国制限が解除されたので、2022年4月期生、10月期生は適正な留学生数を確保したい。

5．教育活動

［○］　※5－1　理念・目標に合致したコース設定が行なわれているか。

［5］　　 5－2　カリキュラムは体系的に編成されているか。

［5］　　 5－3　教育内容・方法について教員間で共通理解できているか。

［5］　　 5－4　教育目標及びレベル設定に見合った教材が選定されているか。

［5］　　 5－5　補助教材を含む使用教材においては著作権法に留意しているか。

［5］　　 5－6　新学期開始前までに適切なクラス編成が行なわれているか。

［5］　　 5－7　授業記録・出席簿等が適切に記録され、保管されているか。

［5］　 　5－8　成績判定基準及び、判定方法が明確になっており、開示されているか。

［5］　 　5－9　成績判定結果を学生に伝えているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　教育目的を達成できるように教員同士よく相談し、よりよい方法を常に模索し、定期的な研修も行っている。

6．学生支援

［4］　　　6－1　進学・就職指導に関する体制は整備され、有効に機能しているか。

［5］　　　6－2　学生相談に関する体制は整備され、有効に機能しているか。

［5］　　　6－3　学生の留学生活全体の支援体制が整備され、有効に機能しているか。

［5］　　　6－4　学生住居、アルバイトへの支援は行われているか。

［5］　　　6－5　新入生に対するオリエンテーションは実施できているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　学生が入国してからの生活全体（役所の手続き・ビザ更新等）の支援、住居、日本で生活していく上でのルールの指導を強化していく。また、留学生活の支援体制の充実を図り、こまめに面談を行い、学生たちの精神面のサポートを行っていく。今後、学生数が増加することを想定し、これらの支援を迅速かつ効果的に行えるように対応策を講じていきたい。

7．在留管理・指導

［5］　　7－1　入国・在留関係の管理・指導と支援が適切に行われているか。

［5］　　7－2　日本の法令を遵守させる指導を行なっているか。

［5］　　7－3　最新の学生情報を把握できているか。

［5］　　7－4　学生の出席状況を把握し、的確に指導・対処できているか。

［5］　　7－5　不法残留、資格外活動違反、犯罪関与者等を発生させない取り組みができているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　定期的に授業面、生活面の規則、日本の法令を遵守する原則を説明している。学生との面談を定期的に行い、授業の状況、私生活での問題などについて聞き取りを行っている。

8．学生募集・受け入れ

［○］ ※8－1　学生の受け入れ方針は定められているか。

［5］ 8－2　学生の募集活動は適正に行われているか。

［5］　 8－3　入学選考は適正かつ公平に行われているか。

［4］　　8－4　適正な定員設定及び在籍者数になっているか。

［4］　　8－5　入学検定料、入学金、授業料及びその他納入金の金額、納入時期が明示されているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　コロナ禍で直接海外に行って募集することが困難な状況だが、インターネットを使用して日本語力の確認、留学目標等の確認を慎重に行い、選考試験を行っている。

9．法令等の遵守

［4］　　　9－1　法令、設置基準等の遵守と適性な運営がされているか。

［4］　　　9－2　個人情報保護のための対策がとられているか。

［5］ 　　9－3　自己点検・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。

［5］ 　　9－4　入国管理局、関係省庁等へ届出、報告を遅延なく行われているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　自己点検を通して質の向上に目指し、努力しつづけたい。教職員の増加に伴い、法令遵守や個人情報保護等のコンプライアンスを重視する意義の説明を行っていく。

10．健康・安全・危機管理

［5］　　 10－1　学生全員に国民健康保険及び留学生保険に加入させているか。

［5］　　 10－2　定期的に健康診断が実施できているか。

［4］　　 10－3　重篤な疾病や重傷を負った学生の対応を定めているか。

［5］　　 10－4　気象警報が発令された場合の対応を定めているか。

［4］　　 10－5　危機管理体制は整備されているか。

［4］　　 10－6　学校施設・整備は教育上の必要性及び学生の安全確保に十分対応できるようになっているか。

【取組詳細／問題点、改善点】

　災害時の対応は定めているが、今後さらに調整・改善をし、よりよい対応を定めていく。授業中はマスク着用を義務化し、学内にアルコール消毒液、ペーパータオルの設置をし、感染予防に努めている。また日々体温測定を行うとともにコロナ感染予防の声掛けを行っている。